

2015年度 センター試験 本試験 世界史 A

第1問 世界史上のマイノリティ（少数派または被支配集団）

出題範囲	イスラーム史，近現代史
難易度	★★☆☆☆
所要時間	10分
傾向と対策	Aの問4のコソヴォ紛争やルワンダ内戦については，勉強が行き届いていない受験生もいたかもしれないが，現代史では基本的な知識であり，たまに出題されるので解説に書いてあるような事項も含めてしっかりと覚えておこう。Bの問8のようなグラフの読み取りに見せかけた世界史の思考力を問う問題は，近頃出題が増えている。わからなくても知っていることから丁寧に類推する，という姿勢は常に忘れないでおこう。Cの問11は，よく知る国際機関であっても不安な事項があったときは，復習しておくことを強く勧めたい。

A

問1 正解は①

難易度 ★☆☆☆☆

解説

出題分野は，①イスラーム世界，②オスマン帝国の変容と民族の自覚，③・④イスラーム世界の再編で，文章中の穴埋め問題。キーワード「第3回十字軍と戦い，ヨーロッパの文芸作品にも取り上げられた」をしっかりと捉えることができれば，正解にたどり着ける。

- ① 正 サラーフ＝アッディーン（サラディン）は，クルド人出身で，アイユーブ朝を建てた人物。1187年にエルサレムを回復し，第3回十字軍とも戦った。
- ② 誤 ムハンマド＝アリーは，ナポレオンのエジプト遠征軍と戦い，のちにエジプト総督の地位を獲得した。ワッハーブ王国を滅ぼし，ギリシア独立戦争ではオスマン帝国を支援したが，エジプト＝トルコ戦争では，オスマン帝国と対立する姿勢を取った。また，ムハンマド＝アリーは近代化政策を推し進めたことでも知られ，マムルークを一掃することで，軍隊の近代化を図った。教育制度と工業の近代化を目指して，多くの留学生をヨーロッパに送るとともに，お抱え外国人を採用した。
- ③ 誤 メフメト2世は，オスマン帝国のスルタンで，1453年にコンスタンティノープルを征服し，ビザンツ帝国を滅亡させた。征服したのち，イスタンブルと改称し，オスマン帝国の首都とした。また，1475年にはクリミア半島に進出し，クリム＝ハン国を保護下に置き，黒海沿岸を支配した。これらのいきさつがあって，メフメト2世には「征服者」というあだ名がついた。
- ④ 誤 アクバルは，ムガル帝国の第3代皇帝で，ムガル帝国の都をデリーからアグラに遷都した。さらに，中央集権を確立し，異教徒へのジズヤ（人頭税）を廃止した人物としても知られている。

問2 **2** 正解は②

難易度 ★★☆☆☆

解説

出題分野はイスラーム世界で、イスラーム諸王朝に関する問題。事実誤認の有無を見極めれば、正解にたどり着ける。支配領域を問う問題(④)も頻繁に出題されるため、地図をみて各王朝の支配領域を確認しておくとうい。

- ① 誤 **ナスル朝**は、首都**グラナダ**に**アルハンブラ宮殿**を建てた。ナスル朝が支配したのは、イベリア半島東南部のみで、**1492年**にはレコンキスタによって**グラナダが陥落**し、イベリア半島のイスラーム支配はナスル朝の滅亡によって終結した。アルハンブラ宮殿は、**アラベスク**で飾られ、西方イスラーム世界の代表的な建築とされている。
- ② 正 **セルジューク朝**(トルコ・スンナ派)の**トゥグリル=ベク**が、**1055年**にバグダードに入城し、そのうち、**アッバース朝**カリフから**スルタン**の称号を授与された。セルジューク朝は、西アジア一帯の制圧や、小アジアへも進出し、ビザンツ帝国を圧迫した。
- ③ 誤 **ファーティマ朝**(ベルベル+アラブ・シーア派)は、北アフリカとアラビア半島の西部に一時領土を拡大し、首都を**カイロ**に置いた。また、**カイロ**に**アズハル学院**も建設した。また、自国の最高権力者を、後ウマイヤ朝やアッバース朝と同様に、**カリフ**と称した。
- ④ 誤 **マムルーク朝**(トルコ・スンナ派)は、アイユーブ朝から自立し、成立した国である。アイユーブ朝と同様の領域、つまり、**エジプト・シリア**を領土としていたため、中央アジアは支配していない。首都の**カイロ**は国際交易の中心として繁栄した。ちなみに、中央アジアまで勢力が及んでいたのは、ウマイヤ朝、アッバース朝、サーマーン朝が主である。

問3 **3** 正解は③

難易度 ★☆☆☆☆

解説

出題分野はイスラーム世界で、イスラーム教の多数派と少数派の宗派の組み合わせ問題。この問題を機に、イスラーム教にある宗派を確認しておくとうい。

※イスラーム教の多数派 = **スンナ派**：代々のカリフを正統と認める。

※イスラーム教の少数派 = **シーア派**：アリーとその子孫のみをムハンマドの正統な後継者と認める。現在、イスラーム教徒の約10%を占める。シーア派の中にも、イスマーイール派に代表される過激派や、十二イマーム派のような穏健派に分かれているが、穏健派が多数派を占めている。

ルター派は、**キリスト教**の宗派。旧来のカトリック教会の教義・制度を否定した新教の一つ。信仰義認説と聖書第一主義を中心とし、反教皇・反皇帝の立場を取り、諸侯・勤労市民・農民に支持された。また、**ネストリウス派**も**キリスト教**の宗派。イエスの神性と人性を分離した説を支持する。432年のエフェソス公会議で異端とされ、ササン朝を中心に東方に伝わり、中国では景教と呼ばれている。

問4 4 正解は③

難易度 ★★☆☆☆

解説

出題分野は、①・②・③グローバル化と多極化，④イスラーム世界で，民族対立や迫害に関する問題。民族対立や抗争に関する問題が出題されたときは，改めてその抗争の対立軸（○ vs. △）を確認しておこう。

- ① 誤 スリランカでは，シンハラ人（仏教徒）とタミル人（ヒンドゥー教徒）との抗争が続いていたが，2009年にタミル人を中心とする武装勢力が敗北宣言を出し，シンハラ人を中心とする政府側の勝利をもって抗争が終結した。
- ② 誤 コソヴォ紛争は，新ユーゴスラヴィアの，コソヴォ自治州で圧倒的多数を占めるアルバニア系住民の自治権を，政府が縮小したために生じた紛争。アメリカはアルバニア側を支持し，セルビア側の残虐行為を理由に NATO 軍の中心となりセルビア空爆を実施した。現在，暫定自治政府が発足しているが，両者の対立は解消されていないままである。
- ③ 正 ルワンダでは，フツ人（フツ族）とツチ人（ツチ族）との間でルワンダ内戦が起こった。現代のアフリカ史上最悪の事件といわれ，フツ族強硬派によるツチ族に対しての大量虐殺が行われた。2000年以降は穏健派が政権を握り，和平への道が探られている。
- ④ 誤 ウマイヤ朝では，アラブ人ムスリムが優遇され，マワリー（改宗者，非アラブ人ムスリム）やジンミー（異教徒）は，ジズヤ（人頭税）とハラージュ（地租）を納税する義務があった。アラブ人であるか否かによって対応が変わっていたので，ウマイヤ朝はアラブ帝国と呼ばれ，反対にアッバース朝は，ムスリムであるか否かで対応が変わったので，イスラーム帝国と称された。

B

問5 5 正解は④

難易度 ★☆☆☆☆

解説

出題分野は，①・②・④第二次世界大戦と世界，③古代の地中海世界で，文章中の穴埋め問題。キーワードがおさえられていれば，正解にたどり着ける。これを機会に，ほかの選択肢の言葉も復習しておこう。キーワードは，「ユダヤ人…アと呼ばれる特別居住区」。

- ① 誤 ソフホーズは，ソ連時代の国営農場の名称。農民は俸給制で，土地と生産用具は国有だった。このような農業の集団化は，第1次五カ年計画で拡大した。ちなみに，コルホーズは集団農場。土地・農具を共有し，共同使用する。
- ② 誤 スラムは，都市部において極貧層が居住している過密化した地区を指す。アメリカのハーレム（ニューヨーク市）やフィリピンのスモーキー・バレーがスラムの例である。
- ③ 誤 アゴラは，古代ギリシアでの，アクロポリスの麓にあった公共広場のことを指す。交易・集会・裁判などが行われ，ポリスの政治・経済活動の中心の場所となっていた。

- ④ 正 第二次世界大戦中にユダヤ人が移送させられたのは、ゲトトと呼ばれる特別居住地区である。ゲトトは、中世ドイツ・東欧の都市にも存在し、ユダヤ人強制隔離居住区のことを指した。

問6 6 正解は①

難易度 ★☆☆☆☆

解説

出題分野は列強の国内情勢で、反ユダヤ主義の高まりに関する文章の穴埋め問題。キーワードから当てはめる言葉は比較的明瞭に定まる。不正解だった場合は、もう一度ドレフュス事件を復習しよう。

イ フランスが入る。キーワードは、「第三共和政」の部分。

ウ ドレフュス事件が入る。キーワードは、「19世紀末」「第三共和政下のイで」「ユダヤ系の軍人がスパイ容疑で告発される」の三つ。ユダヤ系の軍人、ドレフュスがドイツ側のスパイという容疑で告発されたのは、ドレフュス事件。この事件を起こした背景には、不安定な政治情勢の中でユダヤ人差別を利用して、支持を獲得しようという軍部の目論見があった。しかし、この事件は国内では第三共和政の危機を作り出すことになるとともに、ヨーロッパ外のユダヤ人国家建設を目指すシオニズム運動の誕生に大きな契機を与えた。

※サライェヴォ事件 第一次世界大戦が起こる契機となった事件。1914年に、オーストリア領ボスニア・ヘルツェゴビナの首都サライェヴォにて、オーストリア皇太子夫妻がセルビア人のプリンチップ青年に狙撃され暗殺された。この事件の背景には、パン＝ゲルマン主義（オーストリア）とパン＝スラヴ主義（セルビア）の対立があった。

問7 7 正解は③

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は第二次世界大戦と世界で、第二次世界大戦中に起こった出来事に関する問題。「誤っているものを選ぶ」ことに留意する。この問題に関しては、(1)事実誤認の有無、(2)第二次世界大戦中に起こった出来事か否か、の2点を検討する必要がある。①～④すべて設問中に事実誤認がないことから、残りは(2)が満たされるかを考える。

- ① 正 ソ連が、スターリングラードの戦いでドイツ軍を破ったのは、第二次世界大戦中（1943年2月）。この戦いが転機となり、ドイツ軍は敗北を重ねていく。
- ② 正 日本が、ソ連と中立条約を締結したのは、第二次世界大戦中（1941年4月）。アメリカとの交渉・対立を有利に進めたい日本と、ドイツのバルカン進出を懸念したソ連の利害が一致し、相互不可侵・中立維持を約束した。しかし、1945年8月8日にソ連は日ソ中立条約を破り、対日宣戦をした。
- ③ 誤 アメリカが、テネシー川流域開発公社（TVA）を設立した（1933年）のは、ニューディール政策の一環であるため、戦間期であるとわかる。世界恐慌を受けて、フランクリン＝ローズヴェルトは、自由放任経済の抑制、国家資本投下による需要の拡大、農民・労働者の救済などを目的としたニューディール政策を掲

げ、恐慌対策に勤しんだ。TVA の設立は、国家事業を新たに設けることで雇用機会を生み、失業者対策になることを目的として行われた。

- ④ 正 連合軍が、ノルマンディー（北フランス）への上陸作戦に成功したのは、第二次世界大戦中（1944年6月）。この成功を受けて第二戦線が成立し、西方からの攻撃と東方からのソ連軍の攻撃で、ドイツは挟撃され、敗戦が決定的になった。

問8 8 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

出題分野は第二次世界大戦と世界で、ドイツの工業生産指数のグラフから読み取れる内容の正誤問題。単なるグラフ問題かと思いきや、a、b どちらにもしっかり世界史の要素が含まれている。a は「世界恐慌」の、b は「ベルリン・オリンピック」の年号がわからないと解けない問題となっている。世界恐慌の年号は重要年号であるが、ベルリン・オリンピックはこの表の中だと、候補が1932年と1936年とあり、間違えやすくなっている。

- a 誤 世界恐慌が発生したのは1929年。乗用車生産は、1929年は100であるのに対し、1937年には約210になっているため、2倍以上になっている。
- b 誤 ベルリン・オリンピックは1936年、ヒトラーの全盛期に開催された。1936年の粗鋼生産をみると、世界恐慌が起こった年よりも多いことがわかる。粗鋼生産が最小である1932年はオリンピック・イヤーなので、間違ってしまう受験生も多いであろうが、1932年のオリンピックはロサンゼルスで開催されている。この開催地の決定は、世界恐慌の影響もあるが、ほかに立候補した都市がなかったことによる。

C

問9 9 正解は②

難易度 ★★★★★

解説

出題分野は、a ヨーロッパ世界の拡大、b アメリカ独立革命で、新大陸における先住民に関する正誤問題。b の問題に関しては、アメリカ合衆国憲法で誰の人権が保障されたのかを再度確認しておこう。

- a 正 ラス=カサスは、エンコミエンダ制の廃止を当時のスペイン国王カルロス1世に訴え続けた。彼の代表作『インディアスの破壊についての簡潔な報告』では、先住民を野蛮視することを厳しく批判した。
- b 誤 アメリカ合衆国憲法には、先住民の人権は保障されていない。人民主権の対象も当初は白人のみに限定され、制定後も先住民や黒人を利用した奴隷制度が存続した。

◆参考 エンコミンダ制

スペイン領植民地において、国王が先住民の保護と使役を植民者に委託するもの。この制度によって、先住民は、プランテーション農業や鉱山開発、都市の建設などで酷使され、さらに、ヨーロッパ人がもたらした天然痘やインフルエンザが現地で流行したために、人口が激減した。

問 10 10 正解は①

難易度 ★★☆☆☆

解説

出題分野は、①・④帝国主義の成立と大衆社会の到来，②・③ 19 世紀の欧米文化で，20 世紀後半の科学や文化に関する問題。この問題は，たとえ正解していたとしても，ほかの選択肢がどの時代のものかを確認しておくことを勧める。それぞれが時代背景とどのようなつながりがあったかを考えると，知識の定着にも役立つ。

- ① 正 ビートルズが結成されたのは，20 世紀後半。1960 年代に結成されたビートルズは，世界の若者たちから支持を受け，彼らの行動に影響を与えた。
- ② 誤 レントゲンが X 線を発見したのは，19 世紀末（1895 年）。彼はその発見によって第 1 回ノーベル物理学賞を受賞した。
- ③ 誤 ゲーテが文学者として活躍したのは，19 世紀。彼は古典主義を完成させ，代表作『若きウェルテルの悩み』や『ファウスト』を出版した。
- ④ 誤 ピカソが『ゲルニカ』を描いたのは，20 世紀前半（1937 年）。スペイン内戦の時期である。彼は反乱側を支持するドイツ・イタリア軍が，政府側支配地域であるゲルニカに無差別爆撃を加えて多くの犠牲者を出したことに強い怒りを感じ，作品に残したとされている。

問 11 11 正解は①

難易度 ★★☆☆☆

解説

出題分野は東西対立と両陣営の形成で，国際連合に関する問題。「誤っているものを選ぶ」ことに留意する。幸い，③と④に挙がっている機関は両方とも国際連合の専門機関であるが，名称が似ていてもそうでない場合があるため，改めて、国際連合の専門機関などを確認しておくことを勧める。

- ① 誤 国際連合（UN）の本部は，ニューヨーク。国際連盟の本部は，ジュネーブ。国際司法裁判所の本部は，ハーグ。
- ② 正 サンフランシスコ会議（1945 年）で，連合国 50 カ国が国際連合憲章を採択した。
- ③ 正 世界保健機関（WHO）は，国際連合の経済社会理事会の専門機関として設置されている。1948 年に発足し，ジュネーブに本部が置かれ，国際保健事業の指導と調整を行う。

- ④ 正 ユネスコ (UNESCO) は、世界保健機関 (WHO) 同様、国際連合の経済社会理事会の専門機関として 1946 年に設置された。教育・科学・文化を通じて世界の平和を促進することを目指している。

(制作：重森理瑛，佐野来実)

2015年度 センター試験 本試験 世界史 A

第2問 世界史上の人間と動物とのかかわり

出題範囲	先史時代～現代の人間と動物とのかかわりの歴史
難易度	★★☆☆☆
所要時間	15分
傾向と対策	2015年度の第2問だが、Aの問1ではヨーロッパの経済について出題された。政治史は得意なのに、経済の話となると苦手意識をもっている受験生もいるかもしれない。世界史という教科では、政治・経済・社会・宗教・文化などのあらゆる側面が密接にかかわりあっているのでバランスよく学習しよう。Bの問8では清代の地図問題が出されたが、清代の中国の領域やその統治はよく出題されるジャンルなので地図上の位置も含めてよく確認しておこう。この問11のような列強の植民地に関する出題は、混同しやすいところなので、整理しながら学習しよう。

A

問1 12 正解は③

難易度 ★★★★★

解説

出題分野は、①第二次世界大戦と世界、②東西対立と両陣営の形成、③中世ヨーロッパ世界、④ヨーロッパ世界の拡大で、ヨーロッパ経済に関する問題。「誤っているものを選ぶ」ことに留意する。この問題では、(1)事実誤認の有無、(2)ヨーロッパに関する記述か否か、の2点を検討する必要がある。

- ① 正 イギリスは、世界恐慌を受けて、1931年に**金本位制を停止**した（マクドナルド挙国一致内閣）。加えて、**ポンド切り下げ**も実施することで輸出拡大を図った。同年に、**失業保険削減**も行っている。対外的には、**ウェストミンスター憲章**を採択し、イギリス連邦の枠組みを完成させ、1932年の**オタワ会議**にて**スターリング＝ブロック**を形成した。
- ② 正 ソ連の影響を受けている**東欧諸国**は、**経済相互援助会議（COMECON）**に参加した。また軍事的には**ワルシャワ条約機構**に参加した。
- ③ 誤 イタリアの諸都市が結んだ同盟は、**ロンバルディア同盟**。ロンバルディア同盟は、神聖ローマ皇帝（フリードリヒ1世）の南下に対抗して結成した同盟。**ハンザ同盟**は、リューベックを盟主とした、**北海・バルト海**における諸都市の同盟。
- ④ 正 ヨーロッパ人が大航海時代に**アメリカ大陸**に進出し、**鉱山開発**を行ったため、ヨーロッパに大量の銀が流入して、ヨーロッパで急激な物価上昇が起きた。この現象を**価格革命**と呼ぶ。

問2 13 正解は③

難易度 ★★☆☆☆

解説

出題分野は、①古代文明の形成、②主権国家の形成、③中国文明の始まりと中国の統一、④科学技術と現代社会で、世界史上の人間と動物とのかかわりに関する問題。④を選んでしまいがちだが、ほかの選択肢を吟味しながら検討してほしい。

- ① 誤 洞窟壁画があるラスコーは、フランスにある。岩盤の凹凸を利用して動物や人間などが浮彫のように描かれている。
- ② 誤 牧羊のために、第1次囲い込みを行ったのはイギリス。第1次囲い込みとは、新大陸への輸出に伴って毛織物の需要が増大したため、領民や地主が小作人から開放耕地を取り上げ、それを生垣や石垣で囲い込み、牧羊（草）地に転換したことを指す。結果としては、土地を失った農民の多くが浮浪者となり、社会的不安が高まったため、成功はしなかった。トマス＝モアは、第1次囲い込みに対して、著作『ユートピア』の中で「羊が人間を食う」という表現をし、政策の批判をした。第2次囲い込みとの対比も確認しておきたい。
- ③ 正 甲骨文字は、亀の甲羅や獣骨に刻まれている。殷代は、祭政一致の神権政治であったため、占いが重要で、おもにその結果を残すために甲骨文字が使われた。
- ④ 誤 初めてクローン羊「ドリー」が誕生したのは、20世紀末（1996年）。クローン技術の人間への運用（各国では禁止）や人間の遺伝子情報の人為的操作は、理論上は可能な段階となったが、大きな倫理的問題をはらんでいる。

◆整理 イギリスの第2次囲い込み（18～19世紀）

背景：農業革命に伴う人口増加

目的：農業の合理的大規模経営

推進方法：議会立法によって合法的に

結果：小作人は都市に流入→賃金労働者となる＝産業革命の原動力

問3 14 正解は①

難易度 ★☆☆☆☆

解説

出題分野は、①・③ルネサンスと宗教改革、②・④産業革命で、ヨーロッパで活版印刷を発明した人に関する問題。完全なる知識問題であるため、不正解だった場合は、よく復習しておこう。

- ① 正 ヨーロッパで活版印刷を発明したのは、グーテンベルク。彼の発明によって、印刷物を安価にすることが可能となり、宗教改革期にはルターの説を早く世間に広めるなど、大きな影響を与えた。

- ② 誤 **スティーヴンソン**は、**実用の蒸気機関車**を開発した、イギリスの発明家。開発のみならず、1825年には、実際にロコモーション号で客・貨物の蒸気機関車輸送に成功した。
- ③ 誤 **コペルニクス**は、**地動説**を主張した、ルネサンス期の天文学者。彼は、著作『天球回転論』で地動説を唱え、天文学に革命的な転換をもたらした。
- ④ 誤 **ワット**は、ニューコメンの**蒸気機関**を大幅に**改良**した人物。彼は、おもに鉱山の排水ポンプに用いられていた蒸気機関を改良して回転運動を行えるようにし、熱効率も高めてあらゆる**機械の動力**へと進化させる可能性を開いた。

問4 15 正解は②

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は主権国家の形成で、イギリス国教会が成立した時期に関する年表問題。注意すべきは、イギリス国教会の「成立」であって「確立」ではないこと。それぞれで時代が変わってきてしまうため、しっかり見極める必要がある。

イギリス国教会が成立したのは、**ヘンリ8世**の時代。**ヘンリ8世**は、王妃との離婚問題で教皇と対立してイギリス国教会を設立した。1534年には首長法を發布し、イギリス国王がイギリス国教会の唯一最高の首長であることを定めた。教会の首長は変わったものの、宗教教義の面ではカトリック教の要素が残された。よって、**b**の時期にあたる。正解は②。

ちなみに、イギリス国教会が**確立**したのは、**エリザベス1世**の時代。彼女は統一法（1559年）を發布し、国教会の礼拝・祈祷の統一を図った。

B

問5 16 正解は②

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、①列強による世界分割、②列強の国内情勢、③第一次世界大戦と世界、④諸民族の抵抗運動で、寒冷地の歴史に関する問題。誤っている選択肢は、具体的にどこがどう間違っているのかを確認しておこう。また、④のように、条約の内容・結果を問う問題もあるため、それも一緒に確認しておきたい。

- ① 誤 **シベリア鉄道**を建設したのは、フランス資本の導入を受けた**ロシア**。1891年に工事が始まり、1905年までに東清鉄道と結ぶ線が完成した。シベリア鉄道は、**ロシアのシベリア開発・極東政策推進**に重要な役割を果たした。
- ② 正 **アメリカ合衆国**は、1867年に**ロシア**から**アラスカ**を買収した。アラスカは、1741年に**ベーリング**が到達して以来、ロシア領だった。
- ③ 誤 **ロシア革命**によってソヴィエト政権が成立したのちに、1918年にチェコ兵救出を名目に、**日本・アメ**

リカ・中国がシベリアに出兵した。日本は第一次世界大戦後もシベリアを占領し、各国が撤兵したあとも単独で駐留を続けた。

- ④ 誤 日本が南樺太を領有できることを規定したのは、日露戦争の講和条約であるポーツマス条約（1905年）。ちなみに、アイグン条約（1858年）は、清とロシアの間で締結した条約で、アムール川（黒竜江）以北をロシア領とし、ウスリー川以東の沿海州をロシア・清の共同管理下に置くことを定めたものである。

問6 17 正解は②

難易度 ★☆☆☆☆

解説

出題分野は、南アジア世界、イスラーム世界で、ヒンドゥー教・イスラーム教における動物の崇敬や禁忌の対象に関する穴埋め問題。この問題の知識は、世界史という科目の知識というよりは、一般教養であるため、覚えておきたい。

ア 牛が入る。キーワードは、「ヒンドゥー教を信仰する人々は…を神聖視し」。ヒンドゥー教では、牛を神聖視し、牛殺しは大罪とされている。

イ ムスリムが入る。キーワードは、「イは豚を不浄視している」。イスラーム教徒は、豚を不浄視し、豚肉を食べることは禁じられている。加えて、飲酒も禁じられている。

問7 18 正解は④

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、①・④フランス革命とナポレオン、②ヨーロッパ諸国の再編、③第一次世界大戦と世界で、ナポレオン1世の業績に関する問題。誤っている選択肢は、誰について述べた文かということも記しておいて、答え合わせをすると、より勉強になる。

① 誤 ジロンド派を追放して恐怖政治を行ったのは、ジャコバン派。ジャコバン派は、公安委員会・革命裁判所などの機関の主導権を握り、反革命派や革命に協力的でないと判断された人々への弾圧を強行した。ジャコバン派の代表者の一人にロベスピエールがいる。

② 誤 大統領に選出されたのち皇帝になったのは、ナポレオン3世。ナポレオン1世は、1799年にブリュメール18日のクーデターでの総裁政府の崩壊を受けて、第一統領に就任し、1802年には終身統領に就任、さらにはその2年後に皇帝に即位した。ちなみに、ナポレオン3世ことルイ＝ナポレオンは、第二共和政下の1848年に大統領に当選し、1851年にはクーデターで独裁権力を掌握した。翌年には国民投票により帝政宣言をし、第二帝政が幕を開けた。

③ 誤 世界政策と称して対外積極策を講じたのは、ドイツのヴィルヘルム2世。彼は、植民地・勢力圏の獲得をおもな目的として、政治的・経済的・軍事的に進出を強行した。

④ 正 ナポレオン1世は、1806年に発布した大陸封鎖令を破ったロシアに対して遠征を行った。大陸封鎖令

は、イギリスに経済的な打撃を与えるために、大陸諸国とイギリス間の通商・交通を全面的に禁止するものであった。加えて、フランス産業資本によるヨーロッパ市場の独占も目論んだ。しかし、結果として大陸諸国の経済活動に大きな打撃を与えることとなり、ナポレオンに対する反抗心が高まった。よってロシアは、大陸封鎖令を破ってイギリスとの交易を再開し、それを裏切り行為と捉えたナポレオンは1812年にロシア遠征を行ったが、失敗に終わった。

問 8 19 正解は④

難易度 ★★☆☆☆

解説

出題分野は東アジア世界の発展で、康熙帝時代に清の領土になった地域と、その地図上での位置に関する問題。康熙帝時代の外交政策などを復習した上で、それらの地域の位置を地図上で確認しておきたい。

まず、地域の名前と地図上での位置が一致しているのは①と④。康熙帝の時代に清の領土となったのは、台湾、モンゴルのハルハ部（服属）、チベットの3カ所。よって④が正解とわかる。1661年に鄭成功が台湾のゼーランディア城を占領し、反清運動を続けていたが、1683年には鄭氏勢力が降伏し、台湾が清の支配下に入った。ちなみに、康熙帝時代の朝鮮は李朝時代で、清に服属している状態であった。

C

問 9 20 正解は①

難易度 ★☆☆☆☆

解説

出題分野は、a 東アジア世界の形成、b 中国文明の始まりと中国の統一で、騎馬遊牧民とその国家に関する正誤問題。あまりひねりがない素直な問題。bに関しては、いつの時代に万里の長城が建設・修築されたのかについても復習しておくといよい。

- a 正 モンゴル帝国では、陸路として駅伝制（ジャムチ）が敷かれた。主要道路10里ごとに站（駅と同じようなもの）をおき、旅行者に食料・馬を提供した。チンギス=ハンが創設し、太宗が制度化して、元朝で完備された。駅伝制が整備されたために広大な領域内の交通が便利になり、東西文化の交流に役立った。
- b 正 万里の長城は、始皇帝が戦国時代に造営されたものを修築・連結したものであり、騎馬遊牧民である匈奴などの侵入を防ぐ目的として建設された。

問 10 21 正解は②

難易度 ★☆☆☆☆

解説

出題分野は南アジア世界で、インドのイスラーム王朝についての穴埋め問題。キーワードがおさえられていれば、正解にたどり着ける。確認として、ア・イそれぞれでほかに候補として挙がっていたものがいつの時代の国・王

朝かを復習しておこう。

- ア **デリー=スルタン朝**が入る。キーワードは、「北インド」「13世紀から約3世紀にわたって」の2カ所。北インドを13世紀から約16世紀まで支配していたのは、**デリー=スルタン朝**。1206年にゴール朝の将軍**アイバク**が**奴隷王朝**を建国し、以降デリーを都とするイスラーム王朝が続いて建国された。1526年にはパーニーパットの戦いでバーブルがロディー朝を打倒したことで、デリー=スルタン朝は幕を閉じた。ちなみに、**クシャーナ朝**は、1世紀半ば頃にクシャーナ族が北インドに建国した王朝。最盛期は**カニシカ王**の時期で、**ガンダーラ美術**が隆盛した。クシャーナ朝は、240年ごろに**ササン朝**の攻撃によって衰退した。
- イ **ムガル帝国**が入る。キーワードは、「北インド」「16世紀以降は」の2カ所。1526年に**ロディー朝**を打倒した**バーブル**は、北インドに**ムガル帝国**を建国した。ムガル帝国は1858年に、シパーヒーの大反乱を受けて滅亡した。ちなみに、マラーター王国（マラータ王国）は、17世紀半ば頃に建国された、インド中部に位置するヒンドゥー王国。ムガル帝国と抗争しながら発展した。特にムガル帝国の**アウラングゼーブ**が異教徒へのジズヤを復活させたことに反感を抱いた。のちに**マラーター戦争**でイギリスに敗れ、滅亡した。

問 11 22 正解は①

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、①列強による世界分割、②南アジア・東南アジアの植民地化、③第一次世界大戦と世界、④アメリカ独立革命で、イギリスの植民地に関する問題。波線が引かれていることによって、間違えている部分が特定できやすくなっているため、正解の場合だとどう記載されるべきかを考えてみよう。

- ① 正 1770年に**クック**が探検して、イギリス領を宣言して以来、イギリスの流刑植民地であった**オーストラリア**で1850年代に金鉱が発見された。それを契機に**ゴールドラッシュ**が起き、移民の流入が急増した。
- ② 誤 **インド帝国**に併合されたのは、**ビルマ**（現ミャンマー）。**ビルマ**は、3度のイギリスとの戦争を経たのちに1886年にインド帝国に併合された。ちなみに**タイ**は、東南アジアで唯一**独立を維持**した国である。**ビルマ**や**マレー半島**を占領し、東南アジア西部から勢力を広げていくイギリスと、**ベトナム**や**カンボジア**などを管理下に置き、東南アジア東部から勢力を拡大していく**フランス**との緩衝地帯であった。
- ③ 誤 インドでは**イギリス本国政府**に対して、**非暴力・不服従運動**が起こった。非暴力・不服従運動は、**ガンディー**が指導した闘争であり、**サティヤーグラハ**の運動であった。ちなみに、**東インド会社**は、インドに進出した頃は名実ともにインドの統治機関として活躍していたが、**シパーヒーの大反乱**の鎮圧にイギリス本国の政府と軍隊が本格的に乗り出したため、その役割を失い、1858年に解散した。
- ③ 誤 **北アメリカ植民地の反英独立運動**が高まったのは、**七年戦争**後の課税の強化があったからである。**1763**年に七年戦争が終結した後、イギリスは戦費負担の名目で重商主義政策を強化し、印紙法や砂糖法などを制定した。植民地側は、それらの課税に反抗し、印紙法反対運動や**ボストン茶会事件**などを起こした。ちなみに、**南アフリカ戦争**は、1899年にイギリスが**ブール人**を侵略したことから始まった戦争。この戦争を抱えながらも、ヨーロッパ内での対立に備える必要があったため、イギリスは「**光栄ある孤立**」の立場を捨て、

1902 年に日英同盟を結んだ。

(制作：重森理瑛，佐野来実)

2015年度 センター試験 本試験 世界史 A

第3問 世界史上の社会運動や民衆運動

出題範囲	近代～現代の世界の社会運動・民衆運動の歴史
難易度	★☆☆☆☆
所要時間	15分
傾向と対策	2015年度の第3問では、Aの問4では順序の並び替え方式で出題されたが、パレスチナ問題はかなり重要度・出題頻度ともに非常に高いので、正誤問題でも正解できるように正確におさえておくべきところ。Bの問6のように各国の政策について出題されたら、必ずその政策の意図・背景・影響まで目を通しておくこと。Cの問10は中国の変革期についての出題。中国の変革期は覚える事柄自体も多く、その起こった年号も重要となる。年表などを確認しながら、力を入れて学習したい。

A

問1 **23** 正解は②

難易度 ★☆☆☆☆

解説

出題分野はグローバル化と多極化で、1980年代に生じた民主化の動きに関する正誤問題。この問題は、出来事とその出来事が起こった国に齟齬があるか否かを考えれば、正解にたどり着ける。

- a 正 中国での**第2次天安門事件**は、**1989**年に起こった。第2次天安門事件は、民主化を求めた学生・市民に対して、人民解放軍が発砲し、多くの犠牲者を出した事件。現在の中国でも政府はこの事件を認めておらず、単なる「暴動」としている。また、2014年に発売されたテイラー・スウィフトのアルバムのタイトルが『1989』であったため、中国で発売する際に検閲にかけられたことも記憶に新しい。
- b 誤 **アキノ**（**コラソン＝アキノ**）**政権**が誕生（1986年）したのは、**フィリピン**。コラソン＝アキノの夫ベニグノ＝アキノの暗殺を受けて、大統領選挙に出馬し、国防軍の支持を得て大統領に当選した。**マルコス**時代の独裁政治からの脱却を図ったが、貧富の差は縮まらず、経済も停滞した。

問2 **24** 正解は③

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、①主権国家の形成、②諸民族の抵抗運動、③第一次世界大戦と世界、④列強の国内情勢で、第一次世界大戦後に起こった民衆運動に関する問題。この問題は、ある程度、年号の目安をつけていると解ける問題である。

- ① 誤 ロシアで**プガチョフの乱**が起きたのは、**18世紀後半**（1773年～1775年）。プガチョフの乱は、農奴

制の廃止やコサックのロシア人支配からの解放を求めたものだったが、結果的に反乱は鎮圧され、**エカチェリーナ2世**は反動化し、農奴制を強化する方針を採った。

- ② 誤 **イランで立憲革命**が起こったのは、**第一次世界大戦前の20世紀初め**（1905年）。イラン立憲革命は、イギリス・ロシアの侵略とこれに従属する政府に対して起こった運動。1906年に仮憲法が制定され、国民議会まで創設されるも、イギリス・ロシアの干渉を受けて挫折した。
- ③ 正 中国で**五・四運動**が起こったのは、**第一次世界大戦後**（1919年）。五・四運動は、**パリ講和会議**において、日本の**二十一カ条の要求**が認められたことに反対した北京大学の学生が起こしたデモ。この運動は全国に拡大し、歯止めが利かなかったため、中国は講和条約の調印の拒否を余儀なくされた。
- ④ 誤 **メキシコ革命**が始まったのは、**第一次世界大戦前**（1910年）。**マデロ**らの自由主義者の武装蜂起から始まり、1911年に**ディアス政権**を打倒し、マデロは大統領に就任した。しかし、革命派は土地改革をめぐる対立で分裂し、**カランサ派・ビリヤ派・サパタ派**による内戦が続いた。結果、1915年にカランサ派が勝利し、1917年に民主的憲法が制定され、メキシコ革命は終結した。

問3 25 正解は④

難易度 ★☆☆☆☆

解説

出題分野は第一次世界大戦と世界で、イギリスの委任統治領の地域と、その地図上での位置に関する問題。第一次世界大戦後に委任統治領となった地域は、地図上で間違えやすくなっているので、再度確認しておきたい。まず、地域名と地図上での位置が一致しているのは①と④。**セーヴル条約**（1920年）の内容には、メソポタミア・パレスチナはイギリスの、シリアはフランスの委任統治領とする条項があった。結果、イギリスは、**イラク・トランスヨルダン・パレスチナ**を、フランスは、**シリア・レバノン**を委任統治領とした。正解は④の**イラクーb**とわかる。

問4 ★★★★★ 26 正解は⑥

解説

出題分野は、**a** グローバル化と多極化、**b・c** アジア・アフリカ・ラテンアメリカの自立と課題で、パレスチナの歴史に関する順序並び替え問題。この問題は、中東の歴史の流れが掴めているか否かで正解・不正解がきれいに分かれる。この問題を機に、第2次世界大戦後の中東史を再確認しておこう。

- a** **パレスチナ暫定自治協定**（オスロ合意）が締結されたのは、**20世紀末**（1993年）。ノルウェーの仲介で秘密交渉が進められ、イスラエル占領地におけるパレスチナ人の暫定自治が認められた。1996年1月には**アラファト**がパレスチナ暫定自治行政府の長官に就任した。
- b** **アラファト**が、**パレスチナ解放機構（PLO）**の議長に就任したのは、**20世紀後半**（1969年）。彼は、アラブ民族解放運動の指導者として、武装闘争を指導し、1974年のアラブ首脳会議でPLOがパレスチナ唯一の代表であることを承認させた。

- c 第 1 次中東戦争が起きたのは、20 世紀半ば（1948 年）。第 1 次中東戦争は、パレスチナ戦争とも呼ばれ、同年にパレスチナ分割案に基づき建国宣言をしたイスラエルと、それを認めないアラブ諸国の間で勃発した。アラブ側が敗北し、パレスチナ分割案で規定された以上の土地をイスラエルに奪われた。よって、c → b → a の順番になる組み合わせの⑥が正解。

◆整理 中東戦争

第 1 次中東戦争（パレスチナ戦争，1948 年）

関係国：イスラエル×アラブ諸国

契機：イスラエル国の建国宣言（1948 年）。

結果：イスラエルの勝利。パレスチナ分割案以上の土地がイスラエル国の領土に。

第 2 次中東戦争（スエズ戦争，1956 年）

関係国：エジプト×イスラエル+英・仏

契機：エジプトのスエズ運河国有化宣言（1956 年）。

結果：エジプトの勝利。イスラエル侵入軍が撤退。

第 3 次中東戦争（6 日間戦争，1967 年）

関係国：イスラエル×アラブ諸国

契機：イスラエルが、エジプト・シリア・ヨルダンを先制攻撃。

結果：イスラエルの勝利。シナイ半島・ゴラン高原・ヨルダン川西岸・ガザ地区を占領した結果、パレスチナ難民が発生。

第 4 次中東戦争（1973 年）

関係国：イスラエル×アラブ諸国

契機：エジプト・シリアが、イスラエルに先制攻撃。

結果：イスラエルの勝利。OAPEC が石油戦略を発動した結果、オイル・ショックが起こる。

B

問 5 27 正解は①

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野はヨーロッパ市民社会の成立で、1848 年のヨーロッパの革命や民衆運動に関する問題。「誤っているものを選ぶ」ことに留意する。ウィーン体制の成立の時期や七月革命に誘発されて起きた出来事と混同しやすいが、出来事の前後にどういう背景があるかを考えたうえで、確信をもって正解を選びたい。フランス革命あたりの時期は、時期を混同し易いため、再度復習しておこう。

- ① 誤 1848年には、自由と憲法を求める市民が蜂起したウィーン三月革命が起き、**メッテルニヒは失脚**し、亡命した。この結果、**ウィーン体制は崩壊**した。
- ② 正 イギリスでの**チャーティスト運動**は**1848**年には最高潮に達していた。チャーティスト運動は、第1回選挙法改正時に選挙権を得られなかった人々が**普通選挙の実現**を目指した組織的政治運動。1837年には**人権憲章**を作り、**1839**年には議会に提出された。
- ③ 正 **フランクフルト国民議会**が開かれたのは**1848**年。フランクフルト国民議会は、ドイツ統一と憲法制定を議題としたドイツ最初の議会。議会中、統一方式を巡り大ドイツ主義と小ドイツ主義が対立したが、小ドイツ主義が優勢となり、1849年3月にはドイツ国憲法を作成した。しかし、プロイセン王の承諾が得られず、のちに武力弾圧によって解散させられた。
- ④ 正 フランスで、**臨時政府**が**国立作業場**を設置したのは**1848**年。当時は**ルイ＝ブラン**が政治を担い、国立作業場の設置などをする中で、社会主義政策を推進していたが、四月普通選挙の際に社会主義者は惨敗し、彼の政策は失敗に終わった。

問6 28 正解は①

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、**a** ヨーロッパ市民社会の成立、**b** ヨーロッパ諸国の再編で、労働者を対象に各国政府が進めた政策に関する正誤問題。**a** に関しては工場法制定の背景を、**b** に関しては保険制度を整備した隠れた意図が見えてくると、なおよい。

- a** 正 イギリスで1833年に制定された**工場法**は、社会主義者**オーウェン**らが、工場労働者の保護のために定めた法律。幾度かの改訂を重ねて整備され、次第に成人男性のみならず労働者全体の労働条件の改善につながった。
- b** 正 ドイツでは、**ビスマルク**が1880年代に**社会政策**に尽力し、疾病・災害・養老などの**保険諸法**を成立させた。これは、ビスマルクの「アメとムチ」政策の「アメ」にあたり、労働者を社会主義運動から切り離す目的もあった。

問7 29 正解は③

難易度 ★☆☆☆☆

解説

出題分野は、①・③第一次世界大戦と世界、②米ソ両大国の動揺、④アメリカ大陸の動向で、政党の歴史に関する問題。②・④に関しては、「人民公社」「南北戦争」の内容がわかっているならば常識的に誤りだと気づける。この問題には、ひっかけやすい選択肢は比較的不いが、今後そういった問題の対策として、政党と彼らが実施したことなどをしっかり復習しておきたい。

- ① 誤 イタリアが**ファシスト**党政権下だったのは、**第二次世界大戦**に参戦した時期。第一次世界大戦に参戦し

たのは、ドイツ・オーストリアとの**三国同盟**があったからである。

- ② 誤 **人民公社**を設立したのは、**中国共産党**。1958年に第2次五カ年計画を開始するとともに、**大躍進運動**の一環で人民公社を組織した。人民公社は、農村部における生産活動と行政・教育活動などを一体化した組織で、共産主義社会建設の基礎とみなされていたが、生産性の低迷をもたらし、1982年に解体された。
- ③ 正 ロシアでは、**ボリシェヴィキ**が1917年の**11月革命**で**ソヴィエト政権**を樹立し、1918年にボリシェヴィキ独裁を達成した。
- ④ 誤 アメリカ合衆国で**共和党**が結成されたのは、**南北戦争前**（1854年）。南北戦争時、北部は共和党を、南部は民主党を支持していた。

C

問8 30 正解は①

難易度 ★☆☆☆☆

解説

出題分野は東アジアの変容と日本の動向で、文章中の穴埋め問題。キーワードが理解できれば正解にたどり着ける。漢字の名前だと覚えにくいかもしれないが、なんとかして覚えよう。キーワードは、「太平天国」と「清の打倒や漢民族王朝の復興を掲げるアを指導者として」の2カ所。

- ① 正 **太平天国**の運動を指導していたのは、**洪秀全**。太平天国は「**滅満興漢**」(清を倒し、漢民族王朝の復興を目指す)を主張した。**洪秀全**は、広西省金田村で拳兵し、南京を占領し、天京と改称した。しかし、常勝軍や湘軍などの攻撃を受け、1864年に洪秀全は死亡し、太平天国は滅亡した。
- ② 誤 **阮福暎**(**阮福映**)は、ベトナムの**阮朝**の初代皇帝で、フランス人ピニョーラの援助を得て、1802年に**西山朝**を滅ぼし、ベトナム全土を統一し、**阮朝**を立てた。
- ③ 誤 **曾國藩**は、太平天国の乱の時に**湘軍**を結成し、太平天国の滅亡に力を貸した。また、彼は**洋務運動**にもかかわり、「中体西用」を掲げた人物でもある。
- ④ 誤 **康有為**は、日清戦争での敗北を受けて洋務運動が挫折したことから、**変法**(**自強**)**運動**での成功を目指した。**変法運動**とは、**明治維新**をモデルとする**立憲君主政の樹立**を目指した運動のこと。康有為のほかにも、光緒帝や梁啓超が中心となって、この運動を進めた。

問9 31 正解は③

難易度 ★☆☆☆☆

解説

出題分野は、**a** アメリカ独立革命、**b** アジア・アフリカ・ラテンアメリカの自立と課題で、独立運動の指導者に関する正誤問題。この問題は、人物と地域が合致しているかを確認する問題。アメリカの大統領は混同しやすいので、間違えたら必ず復習することを勧める。また、南アジア・東南アジアにおける独立運動の指導者の名前も混同しやすい。

- a 誤 アメリカ独立戦争後に就任した**初代大統領**は**ワシントン**。彼は連邦派の代表であった。ちなみに、**フランクリン**は、独立宣言起草委員を務め、1776年～1785年には駐仏大使として、フランスの援助を得ることに成功した人物である。
- b 正 **スカルノ**は、**インドネシア**が独立を達成した時の指導者で、インドネシア共和国**初代大統領**。1949年にインドネシアは完全独立を達成し、その後、スカルノは非同盟諸国のリーダーとして活躍した。

問 10 32 正解は④

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、①・②・③諸民族の抵抗運動、④第一次世界大戦と世界で、中国における変革の動きについての問題。この問題が取り上げている時代に関する史実は混同しやすいので、不正解だったら必ず復習し、流れをきっちり押さえられるようにしよう。

- ① 誤 **科挙**が**廃止**（1905年）されたのは、**中華民国成立**（1912年）**以前**。義和団事件による変法運動の挫折を受けて、清末期の改革の一環として科挙は廃止された。清末期の改革は、ほかにも**憲法大綱の発表**や**国会開設の約束**などを含む。この改革は、1911年に始まった辛亥革命によって終了した。
- ② 誤 **清朝**が**打倒**（1912年）されたのは、**辛亥革命時**。ちなみに、1900年に起こった**義和団事件**は、「**扶清滅洋**」（清を助けて欧米を滅ぼす）を掲げ、排外・仇教運動を行っていた。また、清はこの運動を受けて諸外国に宣戦をしたため、これに対し**8カ国連合軍**の出兵が実施され、1901年9月には**北京議定書**が結ばれ、中国が半植民地化した。
- ③ 誤 **中国同盟会**を結成したのは、**孫文**。孫文はこれを**東京**で組織し、**三民主義**と**四大綱領**を掲げた。ちなみに、**袁世凱**は、辛亥革命が起こると清朝から総理大臣に起用され、革命の鎮圧を命じられたが、寝返り、清朝皇帝を退位させ、1912年3月に臨時大総統となった人物。
- ④ 正 **陳独秀**は、1915年ごろに始まった**新文化運動**（**文学革命**）を主導した人物。彼は、雑誌『新青年』を新刊し、欧米の思想を中国国民に紹介した。ほかにも、白話運動を提唱した**胡適**や、『阿Q正伝』を著した**魯迅**、マルクス主義を紹介した李大釗が**文学革命時**に活躍した。その後、陳独秀は上海で**中国共産党**を結成した（1921年）。

問 11 33 正解は②

難易度 ★☆☆☆☆

解説

出題分野は、諸民族の抵抗運動、東西対立と両陣営の形成で、近代以降の朝鮮半島で義兵闘争が起こった時期に関する年表問題。日本の韓国併合が1910年（重要年号）であることをおさえていれば、その前後だという見当がつくだろう。朝鮮半島に関する歴史は、時間をたくさん割いて取り上げるトピックでないにもかかわらず、比較的出題される傾向が高い。不正解の時には、その都度復習しておこう。

近代以降の朝鮮半島で**義兵闘争**が起こったのは、1907 年ごろ。日露戦争の講和条約である**ポーツマス条約**で、日本が韓国統監府を置くことが認められ、1905 年に設置した。その 2 年後に**高宗**は**ハーク密使事件**を起こし、自身の退位につながった。それを受けて**第 3 次日韓協約**が交わされ、実質韓国は日本の植民地と化した状態となった。そんな中で広がったのが**反日義兵闘争**である。正解は 1882 年と 1937 年の間の **b** にあたる ②。

◆整理 20 世紀初頭の日韓協約

第 1 次日韓協約（1904 年）：韓国の**外交と財政**に日本政府派遣の**顧問を置く**ことを強制

第 2 次日韓協約（1905 年）＝韓国保護条約：韓国は自主**外交権**を奪われ、**日本の保護国**となる

第 3 次日韓協約（1907 年）：日本は**韓国内政権を掌握**し、韓国軍隊は解散させられた

（制作：重森理瑛，佐野来実）